

議会だより とくのはしま


第188号
 平成29年8月1日

発行：徳之島町議会 編集：議会広報編集委員会 〒891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203
 TEL 0997 (82) 11111 FAX 0997 (82) 1101



5月18日に開催された奄美群島市町村議会議員大会（与論町）

第2回定例会	6月6日～8日
☆ 審議された案件と議決結果、議会の動き	6
☆ 一般質問（6氏登壇）	7
☆ 研修レポート・編集後記	13

6 月定例会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案)	
・専決処分（平成 28 年度一般会計補正予算第 9 号）	承認
・専決処分（徳之島町税条例の一部を改正する条例）	承認
・専決処分（徳之島町国民健康保険税条例等の一部を改正する条例）	承認
・専決処分（徳之島町特別会計条例の一部を改正する条例）	承認
・徳之島町暴力団排除条例の一部を改正する条例	原案可決
・徳之島町飼い猫の適正な飼養及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
・徳之島町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
・徳之島町町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
・徳之島町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
・徳之島都市計画亀津第 1 工区土地区画整理事業施行規程に関する条例を廃止する条例	原案可決
・総合整備計画の提出	可決
・平成 29 年度一般会計補正予算（第 1 号）	原案可決
・平成 29 年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
・平成 29 年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
・平成 29 年度介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
・平成 29 年度公共下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
・平成 29 年度水道事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決
(報告)	
・繰越明許費	
(発議)	
・教職員定数の改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元、複式学級解消をはかるための、2018 年度政府予算に係る意見書	原案可決

議会の動き

28 日	徳之島地区防犯組合連絡協議会	25 日	IN 徳之島大会
26 日	策推進協議会総会	20 日	第 30 回トライアスロ
25 日	徳之島地域農業総合対策推進協議会総会	16 日	委員会
23 日	調査説明会（鹿児島市）	8 日	第 1 回議会だより編集
18 日	奄美群島振興開発総合調査説明会（鹿児島市）	6 日	三力町議会議員奉仕作
16 日	美会懇親会（鹿児島市）	2 日	第 2 回定例会開会
13 日	県政説明会及び県庁奄美会懇親会（鹿児島市）	2 日	第 2 回定例会開会
12 日	在鹿徳之島町郷友会総会（鹿児島市）	2 日	第 2 回定例会閉会
11 日	委員会	2 日	第 1 回議会だより編集
10 日	第 3 回議会だより編集	2 日	三力町議会議員奉仕作
9 日	記念大会（尼崎市）	2 日	第 1 回議会だより編集
8 日	関西奄美会創立 100 周年記念大会（尼崎市）	2 日	第 1 回議会だより編集
7 日	議長研修会（奄美市）	2 日	第 1 回議会だより編集
6 日	小中学校転入教職員宣誓式及び研修会	2 日	第 1 回議会だより編集
5 日	小中学校管理職等歓迎会	2 日	第 1 回議会だより編集
4 日	業要望活動（鹿児島市）	2 日	第 1 回議会だより編集
3 日	議長研修会（奄美市）	2 日	第 1 回議会だより編集
2 日	業要望活動（鹿児島市）	2 日	第 1 回議会だより編集
1 日	議長研修会（奄美市）	2 日	第 1 回議会だより編集
31 日	業要望活動（鹿児島市）	2 日	第 1 回議会だより編集
30 日	議長研修会（奄美市）	2 日	第 1 回議会だより編集
29 日	業要望活動（鹿児島市）	2 日	第 1 回議会だより編集
28 日	議長研修会（奄美市）	2 日	第 1 回議会だより編集
27 日	業要望活動（鹿児島市）	2 日	第 1 回議会だより編集
26 日	議長研修会（奄美市）	2 日	第 1 回議会だより編集
25 日	業要望活動（鹿児島市）	2 日	第 1 回議会だより編集
24 日	議長研修会（奄美市）	2 日	第 1 回議会だより編集
23 日	業要望活動（鹿児島市）	2 日	第 1 回議会だより編集
22 日	議長研修会（奄美市）	2 日	第 1 回議会だより編集
21 日	業要望活動（鹿児島市）	2 日	第 1 回議会だより編集
20 日	議長研修会（奄美市）	2 日	第 1 回議会だより編集
19 日	業要望活動（鹿児島市）	2 日	第 1 回議会だより編集
18 日	議長研修会（奄美市）	2 日	第 1 回議会だより編集
17 日	業要望活動（鹿児島市）	2 日	第 1 回議会だより編集
16 日	議長研修会（奄美市）	2 日	第 1 回議会だより編集
15 日	業要望活動（鹿児島市）	2 日	第 1 回議会だより編集
14 日	議長研修会（奄美市）	2 日	第 1 回議会だより編集
13 日	業要望活動（鹿児島市）	2 日	第 1 回議会だより編集
12 日	議長研修会（奄美市）	2 日	第 1 回議会だより編集
11 日	業要望活動（鹿児島市）	2 日	第 1 回議会だより編集
10 日	議長研修会（奄美市）	2 日	第 1 回議会だより編集
9 日	業要望活動（鹿児島市）	2 日	第 1 回議会だより編集
8 日	議長研修会（奄美市）	2 日	第 1 回議会だより編集
7 日	業要望活動（鹿児島市）	2 日	第 1 回議会だより編集
6 日	議長研修会（奄美市）	2 日	第 1 回議会だより編集
5 日	業要望活動（鹿児島市）	2 日	第 1 回議会だより編集
4 日	議長研修会（奄美市）	2 日	第 1 回議会だより編集
3 日	業要望活動（鹿児島市）	2 日	第 1 回議会だより編集
2 日	議長研修会（奄美市）	2 日	第 1 回議会だより編集
1 日	業要望活動（鹿児島市）	2 日	第 1 回議会だより編集

いっばん質問

6月定例会には、6人の議員が登壇し、子育て支援、地域振興、教育問題、福祉政策、安全対策、農業振興など町政全般にわたり執行部の考えをたどりました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

「コメの育て方を教える」とは

勇元 勝雄 議員



問 町長は、乳幼児医療費を他の市町村並みに無料化を、との質問に対し「米がほしい人には、米を与えるのではなく、米の育て方を教える」という理念で子育てを支援していききたい」と答弁があった。米の育て方を教えるとはどのような事か。

答 町長は、乳幼児医療費を他の市町村並みに無料化を、との質問に対し「米がほしい人には、米を与えるのではなく、米の育て方を教える」という理念で子育てを支援していききたい」と答弁があった。米の育て方を教えるとはどのような事か。

生きる力を身に付ける

答 高岡町長

生きる力を身に付けさせるという事。また、都市部と農村部との格差をなくす事。都会に出たときに、カルチャーショックを受けないように、子供たちが、

自立する時に精神的な強さをもてるよう、教育環境を整えることが必要である。昨今、子供たちが過保護になつていふこともあるかもしれない。失敗しないように生きるのではなく、失敗することを学び、目標を達成することを教える教育環境が大事であり、予算配分をその分野に使っていくべきと考える。

各集落で観光地の管理を

問 集落のコミュニティ維持の為、観光地の管理を希望する集落に任せ

る事によって集落運営費の捻出、共同作業によって住民同志の融和が生まれ、観光地への愛着も生まれると思う。集落に有償で管理をさせる事はできないか。

意向調査をして

対応

答 幸田地域営業課長

現在、維持管理を行つていただいている集落からも、高齢化により維持管理が困難な状況になつてきたため、町で対応できないかとの相談もあり、町で一括して維持管理することになった。今後は、各集落にボランティアか集落運営費の捻出の意向調査を行い、対応していこうと考えている。

どうする丹向川

問 丹向川、古勝川、小郷川の雨水計画書は

どのような計画になつているか。丹向川は、川幅を広げるか、川床を下げて川の断面を広げる方法が最適だと思うがどのような方法が考えられるか。

雨水流入量の

軽減を検討

答 亀澤建設課長

道路兼河川として使用されている区間の断面が不足しており、丹向川流域(約88ha)のうち上流(約13ha)を奥名川へ流出させる案を検討している。道路事業と連携を図り実施予定を考えている。

その他の質問

- グリーンベルトの利用状況について
- 水管理組合について
- 東天城中学校の建て替えについて
- 母間地区のサイレンについて



丹向川の状況 (南区)

コミュニティFM 放送の開局を

富田 良一 議員



問 コミュニティ放送は、地域に密着したきめ細かな情報等の提供、避難所等の災害情報をリアルタイムで提供することも可能、またコミュニティ放送を活用すれば既存の受信機の1/7の安価で、購入できる。開局をどのように考えているか。

答 住田企画課長
地域密着型の情報伝達手段であり、防災行政無線と連動して運営できることから、前向きに検討していく。

前向きに検討

通学路の 安全対策は

問 児童生徒の通学路の安全対策として、交通安全面及び防犯対策面でのような方針で臨み、対応しているのか、また、子

答 向井学校教育課長
徳之島町教育行政の方針と重点対策の中で、交通安全や防犯対策の項目を掲げ指導している。また、通学路等で問題があれば町交通安全対策会議で改善点を協議し関係機関へ要望を行っている。

学校の安全対策

供たちに対して、普段から具体的にどのような指導、注意をしているのか。



ゼロの日の立哨

完了をめざし 特別体制を

幸 千恵子 議員



問 地籍調査の進捗率は、調査が進まない要因は。他課で調査待ちの状況はあるか。自然遺産登録前の今なので、100%完了を目指して国に要請し、民間業者の協力も得た特別体制をつくる必要があると考えるがどうか。

答 福耕地課長
公共事業における土地問題等、地籍調査の早期完了は必須の課題である。完了は必須の課題である。種々問題等により進捗が遅れているが、地籍の早期完了を目指し、国への要望の強化及び事業実施時の委託業者の活用により推進を図る。

国への要望を強化

問 芝健康増進課長
30年度より県が財政運営の責任主体となり、市町村は県と共同で国保運営を担う事となる。税額については、現段階では分らないが、低所得者に対しての軽減措置は残る。また、国保財政の安定は欠かせないものであり、国への国庫負担は要求していく。



境界線の杭

国庫負担金 増額を国に

問 来年度の「国保の広域化」で、制度はどう変わるか。国保税額の予測と軽減対象は。国保加入者のなかには貧困なのに保険料が高いという声がある。「国保の構造問題」が深刻だ。国庫負担割合の増額を国に要求すべきと考えらるがどうか。

答 芝健康増進課長
30年度より県が財政運営の責任主体となり、市町村は県と共同で国保運営を担う事となる。税額については、現段階では分らないが、低所得者に対しての軽減措置は残る。また、国保財政の安定は欠かせないものであり、国への国庫負担は要求していく。

平成30年度の 国保改革

答 芝健康増進課長
30年度より県が財政運営の責任主体となり、市町村は県と共同で国保運営を担う事となる。税額については、現段階では分らないが、低所得者に対しての軽減措置は残る。また、国保財政の安定は欠かせないものであり、国への国庫負担は要求していく。

利用料の用途は適正に

問 ごみの有料化で、「排出抑制・再生利用の促進」の状況はどうか。利用料の適正な用途に3つを要望するかどうか。①一般廃棄物の排出抑制の啓発活動。②リサイクル促進の助成費用。③リサイクル推進施設の整備費用。

ごみの排出量は減っている

答 政田住民生活課長
ごみ有料化により、排出抑制されてきた。再生利用は、再生率が約6割程度で今後更に推進していく。

有料化に伴う手数料の適正な用途については、徳之島愛ランド広域連合で決定する案件である。
その他の質問
○介護保険について

ICT教育の今後は



松田 太志 議員

問 世界の教育環境が進む中、町のICT教育の現状は。また特別支援学級の生徒へのICT教育はどのように取り組んでいるのか。

※ICT分野へと進む中、町のICT教育の現状は。また特別支援学級の生徒へのICT教育はどのように取り組んでいるのか。

※ICTとは、情報処理・通信に関連する技術のこと

各学校でICT活用

答 向井学校教育課長
現在、山小学校・花徳小学校・母間小学校でICTを活用したテレビ会議を通して授業改善に取り組んでいる。今年度で終了だが、しっかり検証し、来年度以降そのノウハウを他の学校へも広めて行きたい。

地域を支える若い世代へ

問 地域の子ども達と学生の方を結ぶ懸け橋として期待される青年団。活動状況と、今後、各地区の青年団活動に、町としてどのような支援を考えるか。

深川社会教育課長
各地区の盆踊り、敬老会等の運営補助を行っており、他にハレー舟大会、どんどん祭り、豊年祭へ参加している。青年団が集落行事に積極的に参加し、新しい行事を創意工夫、主催すれば、地域活性化になるので補助を検討する。

今以上の活動を

深川社会教育課長
各地区の盆踊り、敬老会等の運営補助を行っており、他にハレー舟大会、どんどん祭り、豊年祭へ参加している。青年団が集落行事に積極的に参加し、新しい行事を創意工夫、主催すれば、地域活性化になるので補助を検討する。

限りなくゼロへ

問 今後の「待機児童を限りなくゼロ」へ進めていく為、町と民間の連携をどのように考えるか。また、介護福祉課の名称を保育が育児に関する課のイメージを取り入れられないか。

豊島介護福祉課長
保育所等の整備による増園予定が1か所、家庭的保育事業導入希望が1か所あり、年度途中での要望が可能か県とも協議中で、今後の状況を踏まえ迅速な対応を検討して行きたいと考える。

待機児童

ゼロに向けて

豊島介護福祉課長
保育所等の整備による増園予定が1か所、家庭的保育事業導入希望が1か所あり、年度途中での要望が可能か県とも協議中で、今後の状況を踏まえ迅速な対応を検討して行きたいと考える。

行政改革推進

本部で取り組み

答 岡元総務課長
課の名称や課の新設・統廃合、各課事務分掌の見直しについては、第5次徳之島町行政改革大綱の中で検討・実施することと定められているので、名称変更についても12月をめどに改称するか、徳之島町行政改革推進本部において、結論を出す。



笑顔あふれる青年団と子どもたち

**定例会の様子をインターネットで
ご覧いただけます**

町のホームページから「議会中継」にアクセスしてください。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。
☎ 82-1111 (内線331番)

平成29年度 予防接種日程表

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
4									四混(10~14)										白臨(11~21)												
5									四混(8~12)											白臨(15~19)											
6	MR(~2)								四混(5~9)											白臨(12~16)											
7									四混(3~7)											白臨(10~14)											
8	四混(7/31~4)								白臨(7~10)											水痘4種(14~15)											
9									白臨(4~8)											水痘4種(11~15)											
10									白臨(2~6)											水痘4種(10~13)											
11	~2)								水痘4種(6~10)											MR(13~17)											
12									水痘4種(4~8)											MR(11~15)											
1																				四混(15~19)											
2	~2)								MR(5~9)											四混(13~18)											
3	~2)								MR(5~9)											四混(12~16)											

四混(~) 四種混合の年間日程表



鶴野 将光 議員

「4種混合」接種期間の拡大を

問 0歳児の予防接種に於いて4種混合ワクチンは、月に5日間と接種期間が縛られている。期間

内に接種出来なかった乳児や保護者は、身体的、精神的負担がある為、毎日あるいは、期間を広げて接種出来ないか。

接種間違い防止のため

答 芝健康増進課長
予防接種には各年齢層、様々な予防接種がある。三町が亀津の医療機関を利用しており、接種間違いを防止する為に期間が設けられている。

接種に行けなかった保護者には、保健センターで個別に対応する。

世界遺産観光、大奄美構想

問 奄美大島のひとり勝ちとも言える観光誘客において、徳之島をはじめとした南三島は、互いの魅力を補完し合い、それぞれ別個の島としてでなく、ひとつの奄美、大奄美として世界遺産誘客に対応していくべきではないか。

観光は、特化した人との交流

答 高岡町長
確かに、広域的に発信することは重要だ。自然特化した観光・おもてなしを構築し、徳之島にしかないもの、それは、人である。人との交流を深める観光メ

ニューも造る必要がある。また、「西郷どん」の大河ドラマと世界自然遺産登録も間近だ。それぞれの島の特長を生かし、広域的に取り組むよう努力したい。

井之川に西郷どんスポットを

問 西郷隆盛が徳之島に滞在した3ヶ月弱は、西郷の人生においてハイライトのひとつになり得る。経済効果が期待される大河ドラマのロケ誘致を成功させ、更に西郷ゆかりの地、井之川に観光スポットを整備すべきでは。

周辺整備事業を計画

答 幸田地域営業課長
西郷どんにまつわる公園周辺整備事業と合わせて、先代朝潮太郎資料館施設整備事業の計画をしている。井之川の集落を拠点とした西郷どんと朝潮太郎をコラボした集落の散策ルートを作成し、ネット環境の強化を図り世界へ発信していく。



今も残る西郷松（井之川）

機能強化と再編

是枝 孝太郎 議員



問 奄振事業における予算申請の状況は。また、南三島の連携をより一層はかり、予算措置ができる様、南三島奄振戦略会議の創設と検討会の設置、そして、奄振開発計画及びその実施の総合調整に関する業務を広域事務組合に県から移譲と機能強化・再編ができないか。

答 住田企画課長 ソフト事業については、企画課で取りまとめ提出。南3島戦略については奄美群島成長戦略ビジョンに盛り込まれている。奄振事業は、地元市町村事業と併せて国直轄事業や県事

検討には慎重性を

業があり、全体的な視点から、計画策定等の主体は県と位置づけられている。検討には慎重性が必要だと考える。

農業の発展

問 サトウキビ1t当りの単価の値上り要望を、奄美12市町村と種子島の連携で国、県に、実効的な要望ができないかまた、年間を通した農作物の管理作業組織の確立と、農機具の助成金拡大はできないか。

答 東農林水産課長 きび価格については、奄美群島さとうきび価格対策協議会が種子島と連携し国・県へ要請活動を実施。管理作業組織の設立は、現在議論を重ねている。また、農機具助成の拡大は、申込

状況を勘案し協議

み状況等を勘案し協議を重ねていく。

経済圏の拡大

問 徳之島の経済圏拡大を行うために沖縄との関係について対策は考えているか伺う。

重要であり

対応していく

答 高岡町長

世界自然遺産登録となれば、沖縄との交流は重要となる。今後、JACが奄美・徳之島・沖永良部・沖縄との路線を開通する予定になっている。また、農産物や加工品の流通にも沖縄路線が重要になる。町としてしっかり対応していく。



農業の発展にはまだまだ農機具の助成が必要

次回の定例会は 9 月です

みんなで議会を傍聴してみませんか。手続きは簡単で、傍聴席入口の受付名簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎ 8 2 - 1 1 1 1 (内線 331 番)



議会傍聴の様子

第60回 奄美群島市町村議会議員大会



議員大会決議を読み上げる福岡議長

第60回奄美群島市町村議会議員大会が、5月18日に与論町で開催されました。

当日は、与論町砂美地来館で郡内12市町村から議会議員、市町村長のほか、奄美群島選出の永井章義、禧久伸一郎、向井俊夫、林健二、伊仙町出身の福司山宣介県議会議員が出席されました。大会の



講師の比嘉照夫氏

中で、会長あいさつ、自治功労者表彰（職員2人）、来賓祝辞、祝電披露、県政報告が行われた後議事に入り、各市町村（5ブロック）や議長会から提出された議題6件は、県議の皆さんからそれぞれの分野で助言を受け、全て採択となりました。

大会後は、琉球大学名誉教授農学博士比嘉照夫氏から「EM技術による奄美全群の未来像」と題して講演が行われました。

徳之島三カ町の提出議題は次のとおりです。

- 主要地方道（伊仙↷天城線・伊仙↷亀津↷徳之島空港線・花徳↷浅間線・松原↷轟木線）道路改良事業について
- 沖永良部・与論地区における無電柱化事業の早期実現について（和泊町・知名町・与論町）
- 主要地方道名瀬瀬戸内線（名柄↷久慈間）トンネルの早期実現について（大和村・宇検村・瀬戸内町）
- 名瀬測候所の地方氣象台への格上げについて（奄美市）
- 国道58号（龍郷町役場前から浜千鳥館前）の拡幅改良について（龍郷町・喜界町）
- 奄美群島振興交付金の充実・拡充について（議長会）

議会に対する質問や意見、または議会だよりに対する意見や希望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。

徳之島町議会事務局
☎ 82-1111（内線331番）

議員研修レポート

5月10日に鹿児島市で議会議員研修会が行われました。その内容を各常任委員がレポートします。

経済建設委員 保岡 盛寿

「世界に誇れる鹿児島の食文化」

講師 食育日本料理家 椰木 春幸 氏

食のすばらしさと大切さを知らうえで3つのこととを訴えたいと思います。

1つは「地産地消」、

2つ目は、「日本の食文化」、3つ目は「添加物

はよくない」ということでもあります。地産地消については、その土地の風土に育った食べ物を頂くことが体によいということです。鹿児島は作物はすばらしい食材が多くあります。地方こそが食材の宝庫です。ところが、それを生かしていません。宝の持ちぐされが多い、鹿児島

の食材はすばらしいとの再確認が必要です。本物の特産物は、その土地が潤うべきです。だからこそ地産地消なのです。

次に日本の食文化についてですが、食べ物には意味（ルール）があります。おさしみには、薬味

となるつまが必要です。それが、わさびや大根であつたり菊の花だつたりします。また盛り付け方も決まっています。わさびの場所も決まっています。「秋ナスは、嫁に食わすな」と言いますが、これは、ナスは体温を下げる。すると子供を産む

のが大変になるという意味があるのです。またレシビどおりでは同じ味はでません。高齢者の方でないと出せないそれぞれの味があります。見て学ぶことが大切です。集落

の祭りや葬儀、節句にちなんだ料理等。一緒に学ぶことが大切なのです。次に添加物はよくありません。化学調味料はいけないということです。かつお節、しいたけ、豚や鳥など自然食材からだしをとるといふことで

ん。その多くは、男性は肝臓、女性は子宮にたまると言われています。そのことでガンや奇形児等の病気になる率が高くなるのです。

まとめとして、人間は食べ物で出来ています。食べるために生きてい

る。食が大事です。また、人間はいろいろな細胞が死ぬと言われています。つまり、笑うことが大事だと言ふことです。

病気で長生きするより、元気で長生きしたいものです。その為にも「美味しい物を食べて適度な運動をして笑う」ことで健康な体を作りたいものです。

「人口減少時代の地方議会・議員の課題」

講師 早稲田大学公共経営大学院教授

片山 善博 氏

総務文教厚生委員 松田 太志

片山氏は、①人口減少と地域経済の停滞、②「地方創生を点検する」、③地域本位に考える議会、④議会が重視するべき地域の持続可能性、⑤地域の英知を結集する議会、⑥これからの自治と議会の6項目において、地域の議会や地方自治について講演をされた。

氏は「地方創生」について、3年弱経過し基本的にどう変わったかというのは期待する方が無理で、何かちよつと明るい兆しが見えてきた、変化や予兆があるのかと、会場に投げかけながらも具体的に変化が現れていない事をあげた。

アム付き商品券」を玉として進めたが、結果がみられなく、本来であれば人材育成に投資をするべきであると指摘。商品券を使ったから商店街が元気になるものでもないし、官僚や政治家に東京生まれ、東京育ちの方々が多くなり「地方創生」を進めても、あまり地方の事を考えずに空回りをしてる現状だと話された。

自身が鳥取県知事を務めている際に47都道府県のうち、鳥取県のみ「スタートアップ」が無い事をマスコミが取り上げ、話題となったが、地元にある「サワイコーヒー」で十分で「スターバックス」がその後出店した



市町村議会議員研修会（鹿児島市）

ことにより地元にお金が落ちない状況ができてしまったとも話された。

話題性ばかりでなく、その地域に本当に必要かをしっかりと考え、企業も誘致しなければお金の流れが外に向いてしま、地方創生にならないとの指摘であった。

国会において衆院小選挙区の区割り見直し改正公選法が成立し、鹿児島県は離島を多く抱えながらも定数5から4へ、比例区も21から20への1減がなされ、次の衆議院選挙において適用される。

今後「地方創生」を考えたときに国へ声が届くのかと不安の声も聞かれる中、我々地方議員も町民の声を確実に「地方創生」の形へと実らせていくように『正しい批判と監視』はもちろんだが政策提案も使命である。



5月26日 世界自然遺産登録を目指して徳之島町金見～手々の海岸ゴミ拾い



6月16日 トライアスロン大会に向けての天城B & G草刈り清掃作業



議会活動スナップ

徳之島三か町議会議員連絡協議会による、奉仕作業が行われました。

編集後記

今定例会でも世界自然遺産登録、西郷せごどんの口ケ誘致が大きく取り上げられた。今後は登録へ向けて環境美化意識の向上が大事になってくる。かねがねボランティア活動で思うことがある。ごく少数の心ない人たちの缶やビンのポイ捨てが島の自然を台無しにしている。先日、三町の議員によるボランティア活動があり、金見く手々地区までゴミ拾いをした。相変わらずゴミのポイ捨てがなくならない。残念でないなら、島を愛する心があるなら、せめてきれいな花の種でもまいてほしいものである。

文責 富田 良一